

米澤教授の最終講義

Ustream で配信してくださっていたので視聴。
以下、気になったスライドのメモ。

研究の展開

プログラミング言語を設計したなら、

1. 処理系の実装
2. 数学的意味論
3. 応用プログラム

をきちんと研究する。

まだ若い方へのメッセージ

- ・ 自分はそれほど才能や能力がないかもしれないが、人の後塵を拝するのはあまり好きでない、と思うなら、早いうちに、「留学」や「海外への長期研究(滞在)」を経験してください。
- ・ そして、そこで得るもので、俗な言い方をすれば「付加価値」を自分につけなさい。
- ・ 海外で勉強すれば、新しい角度でものを見たり感じたり、知り合いができたり、いろいろと楽しいことが沢山ありますから ...
- ・ 是非是非、海外へ

最後に、大事な事を

- ・ 比較的若い時期に海外を見る、海外で生活する、そして学ぶことによって、海外から「自分」と「日本」を見ること
- ・ 別に米国やヨーロッパである必要はない
 - ・ 例えば、北京大学や精華大学に留学すればよい。中国語で暮らし、勉強する。
 - ・ 中国と日本と世界が分かる人(材)が必要とされるし、楽しいだろう。